

日本赤十字社 長崎原爆病院

JAPAN REDCROSS NAGASAKI GENBAKU HOSPITAL

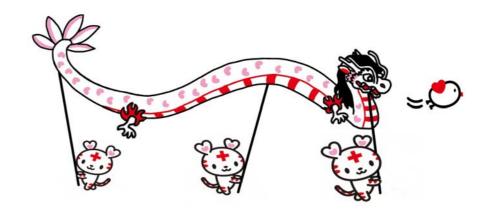
日本赤十字社長崎原爆病院

JAPAN REDCROSS NAGASAKI GENBAKU HOSPITAL



研修医募集 2024





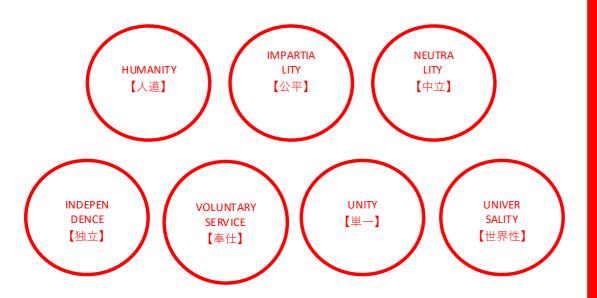
➡ 日本赤十字社 長崎原爆病

〒852-8511 長崎市茂里町3-15
TEL.095-8471511 FAX.095-847-8036
https://www.nagasaki-med.jrc.or.jp/





The seven Fundamental Principles:



わたしたちは、世界中の赤十字が共有する 7つの基本原則にしたがって行動します。

研修理念

臨床研修は、医師が、医師としての人格をかん養し将来専門とする分野に関わらず、 医学および医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に 関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう基本的な診療能力を身に付けることので きるものでなければならない。

病院の理念

人道・博愛の赤十字精神のもと、地域並びに被爆者の皆様へ良質な医療を提供します

病院の基本方針

- 1.安全で良質な医療を提供します
- 2.被爆者の健康管理と診療の充実に努めます
- 3.がん診療の拠点病院として医療の充実に努めます
- 4.医療連携を促進し、救急医療をはじめ地域医療に貢献します
- 5.積極的に災害救護活動を行います
- 6.人間性豊かな医療人の育成に努めます

日本赤十字社長崎原爆病院は、

- 1 赤十字ならではの文化・環境の中で
- ○2 市中病院でしかできない臨床体験を
- 03 大学病院(新・鳴滝塾)との密な連携のもとに

JAPANESE RED CROSS SOCIETY

- ▼ 手技をたくさん経験できる
- ✓ みんな優しくてアットホーム
- ✓ 柔軟なカリキュラム
- | | 救急対応が充実
- ✓ プライマリケアが充実
- commom diseaseを多数経験

- ✓ 各科の垣根が低い
- ✓ 少人数制の手厚いマンツーマン指導
- ✓ 和気あいあいとした研修医仲間
- ✓│ 自主性を尊重
- ✓ 病気を診ずして人を診よ
- ▼ 楽しいレクリエーション などなど

NEXT

市中病院として当然です!

長崎県内のどの研修病院でもそれ程の差はありません

長崎原爆病院はココが違う▶▶▶

在韓被爆者健診

■被爆をされた韓国在住の方々 に対して、毎年韓国各地に健診 に伺っております。

【参加条件】

長崎原爆病院基幹型研修医





災害救護訓練



■日赤の使命でもある「災害救護」。いつ予期せぬ災害が発生したとしても、全国の日 赤関連病院と連携して災害医療を提供で きるよう、非常に質が高く、 実践的な災害救護訓練を 実施 しております。









IJ さ 長

崎

原

爆

病

な

b

は

の

熊本赤十字病院・福岡赤十字病院 ER研修

■熊本赤十字病院





■当院での救急科研修中に 2ヶ月間の研修を熊本赤十字病院 もしくは、福岡赤十字病院にて 実施することが可能です。





【参加条件】 長崎原爆病院基幹型研修医

JAPANESE RED CROSS SOCIETY



BLS • ACLS



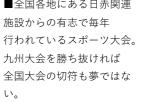


■2年間の研修の間に各種の資格が病院負担で取得できます。 【参加条件】長崎原爆病院基幹型研修医

日赤スポーツ大会









【参加条件】 該当日在籍中の研修医対象

他院とは異なる設立背景や歴史があるために、医師人生を通して貴重な経験をする機会が多い!

日赤長崎原爆病院はココが違う!!

大学病院との「密な連携」

輪番日の救急対応は研修医がファーストタッチ

※輪番・・・4日に1回の長崎市内の救急当番

■夜勤入・・・16:30~ 勤務

■夜勤明・・・ 9:30 帰宅がルール (当院独自)

0:00 16:30

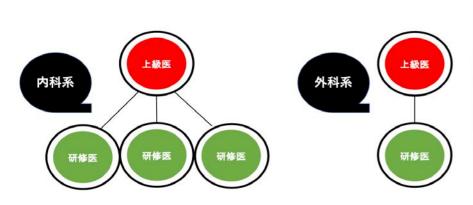
救急患者対応 出勤 休憩

救急患者対応

退社

9:30

■内科系当直・外科系当直にその都度割り振られチームを組んで対応





2022年度 救急医療の実績	救急外来	4682 件
	1日平均	13 件
	救急車取扱件数	2542 件

- ■上級医のフィードバックをもとに、プライマリケアを豊富に経験。
- ■何科のローテートであっても輪番にはいることが出来るのでブランクが生じず継続的に成長。
- ■衝撃的な臨床体験の数々があなたの体に刻まれていくことでしょう。

県内唯一の日赤関連研修病院 日赤のDNA

- ●日々鍛錬しているプライマリケアを活かした先にある災害救護
- ●東日本大震災、熊本地震の際も当院からいち早くDM ATを派遣
- ●救急車は断らない赤十字精神
- ●全国レベルの日赤ネットワークを基盤に様々な交流会・勉強会が活発

〈研修医VOICE〉

- ・仲間と共に数々の困難を乗り越えて行く中で生まれる友情、確実にあります。
- ・輪番当直など自分自身で決断する機会が増えました。
- ・ハードな輪番で鍛えたくて。
- ・学生頭にガツンと衝撃を喰らったような気合の入る体験でした。
- ・夜勤前と夜勤明けは休めるためON・OFFがはっきりしています。

○ トップ同士が方針を共有しており大学病院(新・鳴滝塾)との連携の良さ

- ◎大学病院医局員多数
- ◎地理的にも近いので引越しも必要ありません
- ◎飲み会も多数共有しています

当院で研修可能な診療科

◆外科

◆内科

- ・糖尿尿・内分泌内科
- ·呼吸器外科
- ・リウマチ・膠原病内科 ・乳腺外科
- ・脳神経内科 ・消化器外科
- ◆血液内科
- ◆消化器内科
- ◆循環器内科
- ◆呼吸器内科

◆地域医療

- ・上五島病院
- ・富江病院
- ・奈留医療センター
- ・日本赤十字社 長崎原爆諫早病院

〈協力病院・施設〉

- ◆救急
- ・熊本赤十字病院
- ・福岡赤十字病院
- ◆小児科・産婦人科
- · 長崎大学病院
- ◆精神科
- ・長崎大学病院
- ・道ノ尾病院

◆整形外科

〈選択科〉

- ◆皮膚科
- ◆泌尿器科
- ◆眼科
- ◆耳鼻咽喉科
- ◆放射線科
- ◆麻酔科
- ◆病理診断科

病院概要 315床 789名 病床数 職員数 (正職員: 536名、嘱託職員: 94名、臨時職員: 159名) (一般247床・HCU6床・包括44床・緩和ケア18床) 86名 医師数 臨床研修指導医数 41名(指導医資格取得医師) 医師:80名 研修医:16名) ◎1年次 基本給 385,800円 賞与 271,200円/年 研修医給与 ◎2年次 基本給 401,700円 賞与 286,650円/年 ◎通勤手当(上限額:55,000円)※通勤距離が2km以上の場合、距離や通勤方法に応じて支給 基幹型の処遇 ○住居手当あり ※月額家賃の半額程度 上限28.500円 ◎医師賠償責任保険:任意保険料を病院負担 募集定員 1年次:8名 **〒852-8511** 長崎県長崎市茂里町3-15 ◎応募申請書……1通 提出書類 日本赤十字社 長崎原爆病院 ◎履歴書 ・・・・・1通 提出書類 総務課 ◎卒業見込証明書・・・1通 ◎成績証明書・・・・・1通

自分のやる気次第で

どこまでも臨床検査ができる!

▶ 手技を鍛えたいなら基幹型がオススメ!!



March 2020 Grand Opening!!



















私はこれで日赤長崎原爆病院に決めました!

研修医2年次の声



病院見学で研修医の先生方が充実した研修をされているのが伝わってきました。医師 とは別に備わっている研修医室ではお互いの診療科で経験したことを共有したり教え 合ったりと切磋琢磨している関係が印象的でした。指導医の先生方との関係も密でア カデミックな面もありつつ消化管内視鏡、CVカテーテルなど様々な手技に挑戦でき

また、立地も市内中心部にあり救急対応では多くの症例を経験できるということも魅 力に感じました。

- ・立地がいい(浦上駅から徒歩0分)
- ・給料が高い
- ・オンオフがはっきりしている
- ・研修医の数が多くないので手技がたくさんできる
- ・研修医室の雰囲気が良い
- ・先生たちやコメディカルが優しい
- ・ホワイト

(時間外申請がきちんとつけられる、夜勤の分はちゃんと休みがある) 長崎原爆病院以外の選択肢はありませんでした!!





病院見学では先生方やコメディカルの皆さまがとにかく優しいという印象でした。 見学の学生という立場にも関わらず、指導医の先生は見学中には事細かにご指導い ただき一方で休憩中は気さくに話しかけて下さりました。お昼に研修医室に戻る と、研修医の先生方は明るく活き活きとしていました。病院全体の雰囲気が明る 、伸び伸びと研修をされているように感じました。教育指導の丁寧さと病院の明 い雰囲気が決め手でした!

実際に研修を始めてからも、見学の時の印象と変わりません。研修医同士の仲が良 く、指導医の先生方やコメディカルの皆さんはとても優しいです。(しばしば看護 師さんからお菓子の差し入れがあるほどの優しさです!)輪番日の救急外来や病棟 での指導はとても丁寧で、研修に不安がある方でもまず大丈夫です。休日はしっか り休むことができ、ON-OFFがはっきりしていてとてもホワイトです。自信を持って おすすめできる病院なので、ぜひ一度見学にいらしてください。







先輩医師の声

日赤長崎原爆病院での研修を修了して



熊本赤十字病院 救急科勤務 4年目 福本先生

(長崎原爆病院基幹型)

私は学生の頃から救急志望だったので1年目から当直に入って二次救急対応ができる+ 全国的にも有名なER研修ができるという点に惹かれました。

現在はその研修のご縁もあり熊本赤十字病院のERに所属しています。他にもここには 書ききれないほどのたくさんの魅力があり、バランスのとれた2年間を過ごすことが できました。



光晴会病院 4年目 小川先生

(長崎原爆病院基幹型)

私は長崎原爆病院で初期研修を終え、現在は外科医として働いています。

基幹型研修の特徴としては熊本赤十字病院もしくは福岡赤十字病院で2ヶ月間救急研修 を出来ることです。救急科の先生方の指導をうけて、すごく成長することが出来ま す。また、当院の当直も症例数が多く、研修医がファーストタッチするので多くの経 験ができると思います。

日勤夜勤のシフト制でやっており、当直明けは帰宅可能ですので、体力的にも無理な く働けます。



長崎原爆病院 リウマチ・膠原病内科勤務 4年目 川上先生

(1年目:長崎大学病院 2年目:長崎原爆病院)

長崎大学病院のたすきがけで2年目を長崎原爆病院で研修しました。

2年目はcommon diseaseを広く経験し、医療の実際を身につけたいと考えていました。 私は内科を専攻しましたが、その点でも長崎原爆病院は必修項目のほとんどを経験で きること、救急対応を身につけることができること、地域医療や高齢者医療を経験で きることなど、大きなメリットがあります。救急輪番や平日日勤帯の救急ホットライ ンのファーストタッチなど、初期研修医としてしばしば緊急を要する経験もあります が、上級医の先生の層も厚く安心で、おすすめの病院です。病院スタッフもとても優 しく、充実した研修医生活を過ごせました。





